


# 人 権 学 習 授 業

2005年10月25日

第2学年

題材及び資料 「障害」のある人と出会う

ね ら い ○「障害」のある人と出会い、生活の様子や願いを知る。

学 習 活 動	◎指導上の留意点 及び ◆子どもの反応	準 備
<p>1. これは何でしょう。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>◎ ヘッドピース（手が不自由な「障害」のある人が使う道具）を見せ、何に使うのか、だれが使うのかを考えさせる。</p> <p>◆ 眼の不自由な人が使う道具かな？</p> <p>◆ ペットに使うんじゃないかな？</p> <p>◆ 頭にかぶるのかな？</p>	<p>・立石さんに借りたヘッドピース</p>
<p>2. この道具を使う人から、実際に話を聞く。</p>	<p>◎（隣の教室に隠れていた）立石さんに登場してもらい、ヘッドピースの使い方や生活を中心とした話をしてもらおう。</p> <p>◎ 事前に撮っておいた写真（立石さんの生活の様子）をプロジェクターで映し、説明してもらおう。</p> <p>◆ ヘッドピースが役立っていることが良くわかったよ。</p> <p>◆ ヘッドピースをつけたら、パソコンも電話も使えるんだなと、思った。</p> <p>◆ 「かわいそう」という言葉は、考えて使わないといけないんだな。</p>	<p>・プロジェクター</p>
<p>3. 立石さんの話を聞いて、まだわからないことを聞く。</p>	<p>◎ 質問や補足説明をもらおう。</p> <p>◆ お風呂に入る時は、どうするんですか？</p>	<p>・感想を書くプリント</p>
<p>4. 感想を書く。</p>		

○ 学習の成果と今後の課題（子どもの変容の様子を中心に）

- ・ 初めて立石さんと出会った子どもたちの表情と、話を聞き終わり感想を書く時の子どもの顔は、ずい分違っていた。理解できたことや知ったことがあり、偏見的な見方は感じられなかった。
- ・ 早いうちに「障害」のある人と出会ったことは、願いや思いを素直に受け入れることができたと思う。その思いが上の学年にあがるにつれて、福祉について考えたり、自分にできることはないだろうかと考えたりすることに、結びつくのではないだろうか。